

風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちの生活に何度も大きな被害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

まずは、
確実な情報が大事
その次に迅速な対応



大雨情報をキャッチ!こんなときのわが家の安全対策

**大雨注意報・警報の
発表基準**

大雨注意報

大雨によって災害が起こる
おそれがあると予測される場合

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる
おそれがあると予測される場合

雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量 (mm)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
やや強い雨	10以上 20未満	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	地面一面に 水たまりができる。	—
強い雨	20以上 30未満	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。	寝ている人の半数くらいが 雨に気がつく。	道路が 川ようになる。	ワイパーを速くしても見づらい。
激しい雨	30以上 50未満	バケツをひっくり 返したように降る。	傘は全く役に立たなくなる。		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)	
非常に激しい雨	50以上 80未満	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)			水しぶきで あたり一面が 白っぽくなり、 視界が悪くなる。	車の運転は危険。
猛烈な雨	80以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。				

風の強さと吹き方

予報用語	平均風速 (m/s)	およその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	~50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	~70km	高速道路の自動車	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	~90km		特急電車	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。
	25以上 30未満	~110km	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。					
猛烈な風	30以上 35未満	~125km	140km~	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	40
	35以上 40未満	~140km					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km~						60

竜巻から身を守る

竜巻の発生・接近を確認した時の退避行動

屋内の退避行動



雨戸、窓、カーテンを閉める。

窓からはなれる。

屋外の退避行動



屋内に退避する。

一大雨や雷に遭う可能性も高いので、早めに退避！
一人が集まる屋外行事、テントの使用、高所・クレーン・足場等での作業をしている場合は、早めに避難！

出典：気象庁リーフレット「竜巻から身を守ろう!~自ら身を守るために~」
(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tatsumaki201408/index.html>)
を一部抜粋して作成しています。

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は困難で、河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- テレビ・防災ラジオなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅する、家族と連絡を取りあうなど、非常時に備える。
- 市や防災関係機関の情報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、
注意して
おきましょう!



地下道(アンダーパス)に注意!

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます(普通車の場合、約30cmの浸水で走行が困難)。アンダーパスのある場所では、無理せずに迂回しましょう。

白河市には、アンダーパス(地下道)が複数あります。事前に地図で確認しておきましょう。地図には このようなマークで表示しています